



八代市通学路交通安全プログラム

～通学路の安全確保に関する取組の方針～



八代市通学路安全推進会議

平成27年4月

はじめに

本市では、これまでも通学路の安全を確保するために、毎年4月、各小中学校に「通学路調査及び通学路等危険箇所調査」を通知し、その結果を踏まえて、7月に「通学路等の安全に係る関係各課連絡会議」を開催し、改善に向けた取組を行ってきたところです。

平成24年4月以降、登下校中の児童生徒が死傷する痛ましい交通事故が、全国で相次いで発生したことを受け、通学路の緊急合同点検を実施し、通学路の安全確保に向けて取り組むよう、同年5月に文部科学省、国土交通省、警察庁から全国の自治体に通知されました。

これを受けて、本市では平成24年7月の「通学路等の安全に係る関係各課連絡会議」に、新たに八代警察署、氷川警察署及び県南広域本部維持管理課を加え、通学路の緊急合同点検について検討し、8月に点検を実施しました。

その後も、毎年、同様に通学路の合同点検を実施し、様々な安全対策を講じてきたところです。

今後も通学路の安全確保に向けた取組を継続的、効果的に実施するための「八代市通学路交通安全プログラム」を策定しました。

今後は、本プログラムに基づき、関係機関の緊密な連携により、子どもたちの登下校における交通安全の確保に取り組んでまいります。



1 プログラムの目的

- 継続的に通学路の安全点検を実施し、安全確保に努めます。
- 関係機関が連携し、一体となって通学路の安全対策を推進します。
- 対策実施後も効果検証を行い、安全対策の充実に努めます。

2 プログラムの推進体制

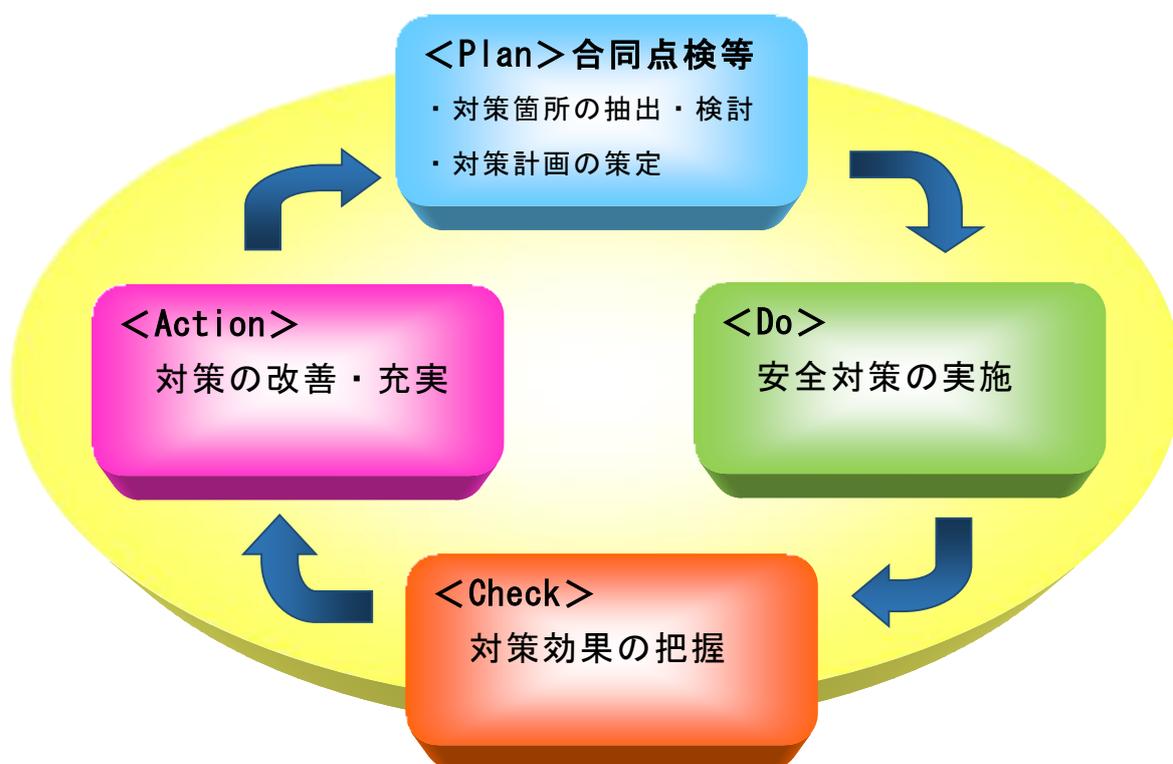
関係機関との連携を図るため、「八代市通学路安全推進会議」（以下、「推進会議」という。）による検討を踏まえて、本市の小中学校における通学路の交通安全の確保を図るため、以下をメンバーとする推進会議を設置します。

関係課及び関係機関	備考
八代警察署	交通管理者
氷川警察署	
九州地方整備局熊本河川国道事務所	道路管理者
熊本県県南広域本部土木部維持管理課	
八代市土木課	
八代市建設政策課・各建設地域事務所	交通安全指導等
八代市市民活動政策課	
八代市各支所地域振興課	事務局
八代市教育委員会学校教育課	

3 取組の方針

(1) 基本的な考え

- ・ 将来にわたり継続して登下校中における子どもの安全確保を図るため、合同点検を継続して実施します。
- ・ 交通安全対策の実施に際しては、安全性の確保が求められる箇所を基本として、優先順位を検討します。また、実施後には効果把握を行うなど、毎年、PDCAサイクルとして繰り返し実施し、通学路の安全性の向上を図ります。



(2) 合同点検等<Plan>

ア 事前の点検（各学校での安全点検）

市教育委員会から4月に通知する「通学路調査及び通学路等危険箇所調査」により、学校職員、保護者及び地域住民が連携を図って点検を行い、危険箇所を報告します。

イ 事務局がとりまとめた危険箇所を事前に担当課及び関係機関が点検し、7月に実施する「推進会議」にて、合同点検箇所を決定します。
なお、決定事項について、各学校に通知します。

ウ 合同点検は、学校及び地域の関係者等の立ち会いがしやすいように、毎年、1回、学校の夏季休業期間中に実施します。

エ 点検箇所を八代警察署管内及び氷川警察署管内に分けて、合同点検を実施します。

オ 合同点検の結果から明らかになった対策必要箇所について、歩道整備のようなハード対策や交通安全教育のようなソフト対策など、対策必要箇所に応じて各関係機関により、具体的な実施メニューを検討します。

(3) 安全対策の実施<D o>

- ・ 安全対策の実施にあたっては、道路の整備については道路管理者が、交通規制等に関しては交通管理者が、緊急性や危険性の高いものから実施するよう関係機関で連携を図ります。
また、学校は関係機関と連携して、児童生徒に対し交通安全教室等を実施するなど、交通安全教育の充実を図ります。

(4) 対策効果の把握<Check>

- ・ 2月に実施する「推進会議」で対策状況を確認するとともに、関係学校に聞き取りをして、対策実施後の効果を把握します。

(5) 対策の改善・充実<Action>

- ・ 対策実施後も効果把握の結果を踏まえて、対策内容の改善・充実を図ります。

4 対策一覧表の公表

点検結果や対策内容については、関係者間で認識を共有するために、「対策一覧表」等を作成し、事務局が市のホームページで公表します。